

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 菊川市における安全・安心で快適な住環境の向上(地域住宅計画(防災・安全))																																								
計画の期間	平成22年度 ~ 平成27年度					交付対象	菊川市																																		
計画の目標	『住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安心できる住まい・まちづくりを実現する。』 『公営住宅等長寿命化計画策定事業を行うことにより、菊川市営住宅の長寿命化を実現する。』																																								
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 菊川市における住宅の耐震化率を上げる。</li> <li>・ 菊川市における公営住宅等長寿命化計画を作成する。</li> <li>・ 外壁・屋上を改修した市営住宅の棟数</li> <li>・ 狭あい道路接道宅地の解消</li> </ul>																																								
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H25末)</th> <th>(H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)</td> <td>(H20末) 81.4%</td> <td>—</td> <td>90%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 公営住宅等長寿命化計画策定済み戸数の割合 (公営住宅長寿命化計画策定戸数の率) = (計画策定された公営住宅戸数) / (全公営住宅戸数) (%)</td> <td>0%</td> <td>—</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 外壁・屋上を改善した市営住宅の棟数 計画期間内に改修が必要な棟数 / 改修をした棟数</td> <td>0%</td> <td>—</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 狭あい道路整備に伴う改善された接道宅地の場合 道路整備沿いの宅地面積率 = (道路整備された接道宅地面積) / (地区内民有地面積) (%)</td> <td>(H26末) 29%</td> <td>—</td> <td>32%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H25末)	(H27末)	① 住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	(H20末) 81.4%	—	90%		② 公営住宅等長寿命化計画策定済み戸数の割合 (公営住宅長寿命化計画策定戸数の率) = (計画策定された公営住宅戸数) / (全公営住宅戸数) (%)	0%	—	100%		③ 外壁・屋上を改善した市営住宅の棟数 計画期間内に改修が必要な棟数 / 改修をした棟数	0%	—	100%		④ 狭あい道路整備に伴う改善された接道宅地の場合 道路整備沿いの宅地面積率 = (道路整備された接道宅地面積) / (地区内民有地面積) (%)	(H26末) 29%	—	32%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																					
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																						
	(H22当初)	(H25末)	(H27末)																																						
① 住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	(H20末) 81.4%	—	90%																																						
② 公営住宅等長寿命化計画策定済み戸数の割合 (公営住宅長寿命化計画策定戸数の率) = (計画策定された公営住宅戸数) / (全公営住宅戸数) (%)	0%	—	100%																																						
③ 外壁・屋上を改善した市営住宅の棟数 計画期間内に改修が必要な棟数 / 改修をした棟数	0%	—	100%																																						
④ 狭あい道路整備に伴う改善された接道宅地の場合 道路整備沿いの宅地面積率 = (道路整備された接道宅地面積) / (地区内民有地面積) (%)	(H26末) 29%	—	32%																																						
全体事業費	合計(A+B+C)	105 百万円	A	102 百万円	B	0 百万円	C	3 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3%																															
○事後評価の実施体制、実施時期																																									
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																																			
菊川市社会資本整備総合交付金評価委員会において審査を行い、評価の判定及び対応方針を決定する。						平成29年1月～2月 公表の方法 菊川市ホームページにて公表																																			
事後評価																																									
1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))																																									
交付対象事業																																									
A 基幹事業																																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考																										
								H22	H23	H24	H25	H26	H27																												
A1 地域住宅計画に基づく事業(基幹事業)																																									
1-A1-1	住宅	一般	菊川市	直接	市	公営住宅ストック総合改善事業	市営住宅の個別改善							55																											
A2 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業以外の事業)																																									
1-A2-1	住宅	一般	菊川市	直/間	市/個人	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び改修等、アスベスト分析調査、除去等・市内全域							23																											
1-A2-2	住宅	一般	菊川市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	潮海寺地区狭あい道路拡幅							24																											
合計													102																												
B 関連社会資本整備事業																																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町 村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)	備考																								
										H22	H23	H24	H25	H26	H27																										
合計													0																												
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																														

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	住宅	一般	菊川市	直接	市	—	公営住宅等ストック総合改善事業	公営住宅等長寿命化計画策定事業	菊川市							3	
合計															3		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	市営住宅の管理が計画的に行われるよう、公営住宅長寿命化計画の策定を行う。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- 住宅の耐震補強については、様々な要因で耐震補強を行わないケースがあるなか、全国で発生する大きな地震後は、耐震化に対する意識が高まり、少しずつではあるが効果が得られている。
- 公営住宅の管理が計画的に行われることを目的とした長寿命化計画について、全210戸の計画区が策定され効果が得られた。
- 策定された長寿命化計画に基づき平成27年度までの計画期間に予定された3棟について改修工事が完了し効果が得られた。
- 狭あい道路接続宅地の解消は、平成27年から新規に事業化したため測量設計及び用地取得に留まり、事業効果の発現に至っていない。

II 定量的指標の達成状況		最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	耐震化率90%を目標に取り組んできたが、目標には届かなかった。これは、対象建築物の所有者の大多数が、高齢者世帯であり、耐震補強の費用がかかることや、跡取り等がないため、工事まで踏み込めないことが大きな要因となっていると思われる。
指標①（住宅の耐震化率）	最終実績値	85.8%		$(\text{住宅の耐震化率}) = (\text{耐震性が確保された住宅数}) / (\text{全住宅数})$ $85.8\% = 12,985 \text{戸} / 15,140 \text{戸}$ （※全住宅数はH25住宅土地統計調査の値）	
	最終目標値	100%			
指標②（公営住宅長寿命化計画策定戸数の率）	最終実績値	100%		$(\text{公営住宅長寿命化計画策定戸数の率}) = (\text{計画策定された公営住宅戸数}) / (\text{全公営住宅戸数})$ $100\% = 210 \text{戸} / 210 \text{戸}$	
	最終目標値	100%			
指標③（外壁・屋上を改修した市営住宅の棟数）	最終実績値	100%		$(\text{外壁・屋上を改善した市営住宅の棟数}) = (\text{計画期間内に改修が必要な棟数}) / (\text{改修をした棟数})$ $100\% = 3 \text{棟} / 3 \text{棟}$	
	最終目標値	100%			
指標④（道路整備沿いの宅地面積率）	最終実績値	29%		平成27年度からの事業化であり、本計画期間で整備済となった路線が無いため。平成26年度末の最終値：29% $(\text{道路整備沿いの宅地面積率}) = (\text{道路整備された接道宅地面積}) / (\text{地区内民有地面積})$ $29\% = 123,100 \text{m}^2 / 421,800 \text{m}^2$	
	最終目標値	32%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

—

3. 特記事項（今後の方針等）

- 住宅の耐震化率については、ダイレクトメールにより耐震性の必要性を促すとともに、アンケートを実施し、その結果から実情や課題を明確にし、菊川市耐震改修促進計画に基づき、継続して耐震化率の向上に努める。
- 市営住宅等長寿命化計画については、平成29年度に中間見直しを実施し、ランニングコストや大規模改修など、長期的な視点を踏まえ適正な管理を行っていく。
- 市営住宅の外壁・屋上等の改修については、市営住宅等長寿命化計画に基づき、市が所有する市営住宅3団地（上本所・長池・赤土）を適正に改修し長寿命化を図っていく。
- 狭あい道路接続宅地の解消については、今後も地区住民の合意に基づき継続して宅地面積率の向上に努める。